資料 4

# 調査結果の概要

## １　調査目的

函館市地域福祉計画の取組状況等を調査することにより，２０年度に策定する第２次函館市地域福祉計画の課題を整理し，地域福祉推進の問題点を見出そうとするもの。

## ２　調査内容

函館市地域福祉計画に掲載している内容について取組状況等の調査を行った。

## ３　調査方法

無記名，選択式(一部自由記述）によるアンケート用紙を地域活動団体を通じ配布，回収した。

## ４　調査対象

(1)個人：主として前回の地域福祉計画策定委員の所属団体に所属している個人　　634名
(2)団体：主として前回の地域福祉計画策定委員の所属団体　　12団体

（調査依頼団体）

| | |
|---|---|
| 函館市社会福祉協議会 | 函館市民生児童委員連合会 |
| 函館市町会連合会 | 函館市ボランティア連絡協議会 |
| 函館市身体障害者福祉団体連合会 | 函館市ＰＴＡ連合会 |
| 函館市女性会議 | 函館市地域包括支援センター　あさひ |
| 函館市地域包括支援センター　こん | 函館市地域包括支援センター　厚生院 |
| 函館市地域包括支援センター　西堀 | 函館市地域包括支援センター　よろこび |

## ５　回答者数

(1)個人　　455名　（回答率　71.8%）
(2)団体　　12団体（　〃　　100.0%）

## ６　調査実施時期

平成２０年２月～４月

## ７　アンケート結果の概要について

*［個人アンケート］*

○　回答者の属性については，６５歳以上が約６割を占め，約７割がボランティア経験を有している。また，約８割が現地域に１１年以上居住しており，地域に長期間居住している６５歳以上の住民が地域活動を支えている実態が伺える。

○　個人アンケートでは，地域福祉計画の取り組みについて，計画に掲げる各項目で５～７割が「できた」(「そのとおりできた」,「ある程度できた」と回答した者）と回答しており，全体的に地域福祉に関する意識が高いことが伺える。

○ただし，回答者の自由記述による意見としては，

・地域福祉計画の周知が不足しており，他人事と考える市民が多いことから，活動への協力が得られない。
・計画策定後の市の取り組みが不足している。
・計画書が難解でわかりにくい，具体的な行動目標が示されていないため，計画書を読んでも地域でどのようにしたらよいかわからない。
・あらたな協力者が増えないため，人材が不足している（特に若い世代)。
・団体同士の連携（ネットワーク）が不足している。

など，地域福祉計画の市民への周知不足，地域福祉に対する市の活動不足，地域で活動する人材の不足等が挙げられた。なかでも，地域福祉活動に携わる市民と，それ以外の市民では，地域福祉計画に関する認知度の差が大きいとの意見が多数寄せられた。

*［団体アンケート］*

○“４　情報の共有化・ネットワーク化の促進”について「できた」とする団体が少ない傾向があった。

○　全項目についてみると,「団体同士のネットワークづくり」,「住民参加の機会提供」および「住民との情報交換」に関連する項目について「できた」とする団体が少ない傾向があった。

*［今後の課題］*

○　市民全体へ地域福祉計画を普及・浸透させ，地域福祉に対する意識の醸成を図るとともに，地域福祉を実現できる環境を整備することが必要。

○　地域福祉の推進にあたり「行政」「地域」「住民」各々の役割をあらためて検討することが必要。

○　地域福祉を実現するため「行政」「地域」「住民」をつなぐ，実践的なネットワークの構築が必要。また「地域」と「地域」,「住民」と「住民」という横の連携を図る仕組みも必要。

# 函館市地域福祉計画の
# 取組状況調査結果報告書

平成２０年度

福祉部福祉推進課

# 目　次


１　調査の概要　・・・・・・・　１

２　個人アンケート結果

（1）　回答者の属性等　・・・・・・・　２

（2）　地域福祉計画の取組状況　・・・・・・・　４

３　団体アンケート結果　・・・・・・・　２１

４　アンケート用紙（個人用）　・・・・・・・　２９

５　アンケート用紙（団体用）　・・・・・・・　３５

## 1　調査の概要

(1)調査目的
　函館市地域福祉計画の取組状況等を調査することにより，２０年度に策定する第２次函館市地域福祉計画の課題を整理し，地域福祉推進の問題点を見出そうとするもの。

(2)調査内容
　函館市地域福祉計画に掲載している内容について取組状況等の調査を行った。

(3)調査方法
　無記名，選択式(一部自由記述）によるアンケート用紙を地域活動団体を通じ配布，回収した。

(4)調査対象
①個人：主として前回の地域福祉計画策定委員の所属団体に所属している個人　　634名
②団体：主として前回の地域福祉計画策定委員の所属団体　　12団体

（調査依頼団体）

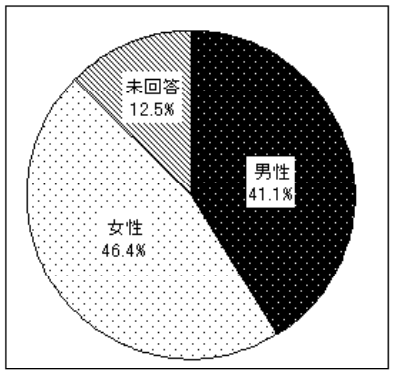
| | |
|---|---|
| 函館市社会福祉協議会 | 函館市民生児童委員連合会 |
| 函館市町会連合会 | 函館市ボランティア連絡協議会 |
| 函館市身体障害者福祉団体連合会 | 函館市ＰＴＡ連合会 |
| 函館市女性会議 | 函館市地域包括支援センター　あさひ |
| 函館市地域包括支援センター　こん | 函館市地域包括支援センター　厚生院 |
| 函館市地域包括支援センター　西堀 | 函館市地域包括支援センター　よろこび |

(5)回答者数
①個人　　455名　（回答率　71.8％）
②団体　　12団体（　〃　　100.0％）

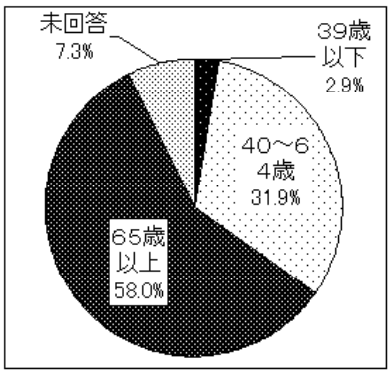
(6)調査実施時期
平成２０年２月～４月

## ２　個人アンケート結果
### (1)　回答者の属性等

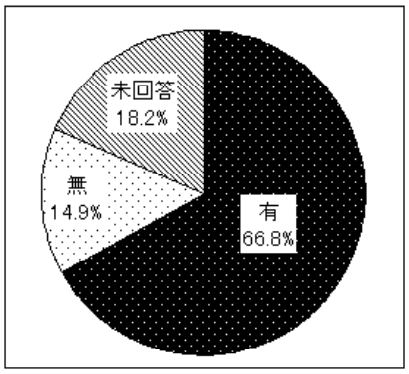
ア　性別
　１　男性　　187名（41.1％）
　２　女性　　211名（46.4％）
　３　未回答　　57名（12.5％）




イ　年齢
　１　３９歳以下　　13名（ 2.9％）
　２　４０歳～６４歳　145名（31.9％）
　３　６５歳以上　　264名（58.0％）
　４　未回答　　33名（ 7.3％）

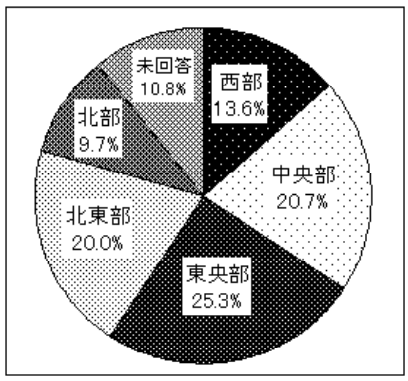



ウ　ボランティア経験の有無
　１　有　　304名（66.8％）
　２　無　　68名（14.9％）
　３　未回答　　83名（18.2％）



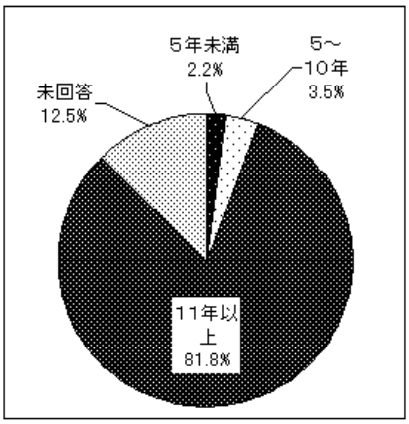
エ　住まいの地区

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | 西部 | 62名 | （13.6％） |
| ２ | 中央部 | 94名 | （20.7％） |
| ３ | 東央部 | 115名 | （25.3％） |
| ４ | 北東部 | 91名 | （20.0％） |
| ５ | 北部 | 44名 | （ 9.7％） |
| ６ | 未回答 | 49名 | （10.8％） |




オ　居住年数

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | ５年未満 | 10名 | （ 2.2％） |
| ２ | ５～１０年 | 16名 | （ 3.5％） |
| ３ | １１年以上 | 372名 | （81.8％） |
| ４ | 未回答 | 57名 | （12.5％） |

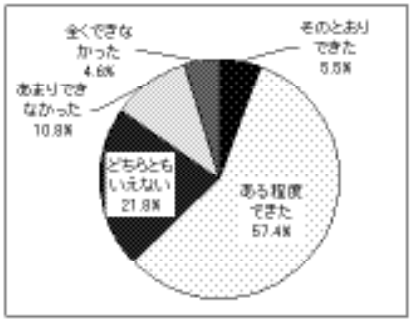


## (2)　地域福祉計画の取組状況

### １　地域での支援体制の構築

１－（１）自らが責任と自覚を持って福祉のまちづくりに参画する。

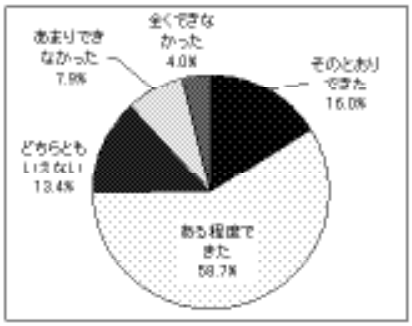
| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 25名 | （ 5.5％） |
| ２ | ある程度できた | 261名 | （57.4％） |
| ３ | どちらともいえない | 99名 | （21.8％） |
| ４ | あまりできなかった | 49名 | （10.8％） |
| ５ | 全くできなかった | 21名 | （ 4.6％） |




○　６割を超える人が，責任と自覚を持って福祉のまちづくりに参画している。

１－（２）声かけ等により近隣との日常的なつながりの中で，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。

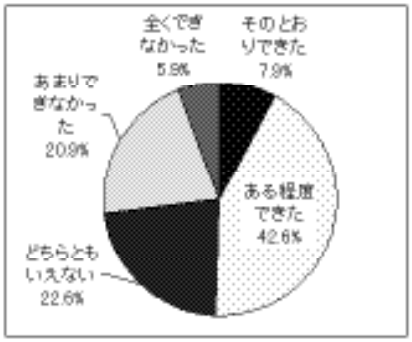
| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 73名 | （16.0％） |
| ２ | ある程度できた | 267名 | （58.7％） |
| ３ | どちらともいえない | 61名 | （13.4％） |
| ４ | あまりできなかった | 36名 | （ 7.9％） |
| ５ | 全くできなかった | 18名 | （ 4.0％） |




○　７割を超える回答者が，福祉サービスと要援助者とのつなぎ役となっている。

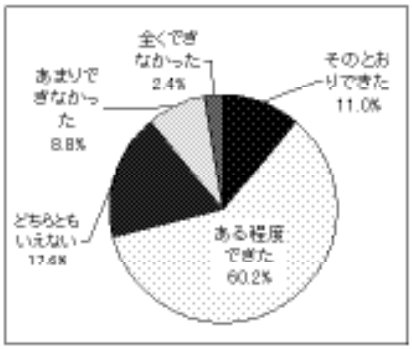
１－（３）地域での子育てやボランティアグループ活動など，自分の経験や知識を活かしながら支援，参画していく。

| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 36名 | （ 7.9％） |
| ２ | ある程度できた | 194名 | （42.6％） |
| ３ | どちらともいえない | 103名 | （22.6％） |
| ４ | あまりできなかった | 95名 | （20.9％） |
| ５ | 全くできなかった | 27名 | （ 5.9％） |




○　約半数の回答者が自分の経験や知識を活かしながら地域の活動に支援，参画している。

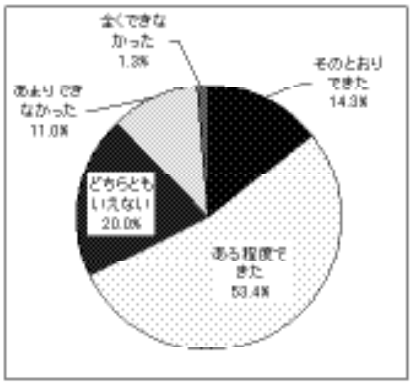
１－（４）地域活動では特定の人にだけ負担が集中しないよう，自分のできる範囲で協力する。




| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 50名 | （11.0％） |
| ２ | ある程度できた | 274名 | （60.2％） |
| ３ | どちらともいえない | 80名 | （17.6％） |
| ４ | あまりできなかった | 40名 | （ 8.8％） |
| ５ | 全くできなかった | 11名 | （ 2.4％） |

○　７割を超える回答者が特定の人にだけ負担が集中しないよう協力している。

１－（５）話し合える仲間や友達を多く作り交流する。

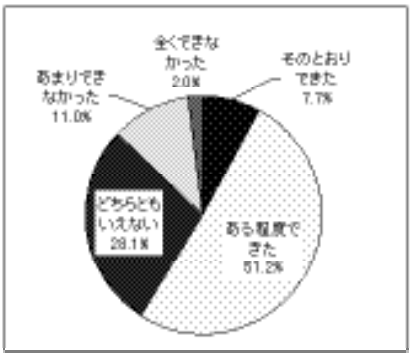



| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 65名 | （14.3％） |
| ２ | ある程度できた | 243名 | （53.4％） |
| ３ | どちらともいえない | 91名 | （20.0％） |
| ４ | あまりできなかった | 50名 | （11.0％） |
| ５ | 全くできなかった | 6名 | （ 1.3％） |

○　６割を超える回答者が多くの友人等と交流を図っている。

## ２　住民参加・人材育成の促進

２－（１）福祉を受身ととらえずに，自分は何ができるかを考えてみる。

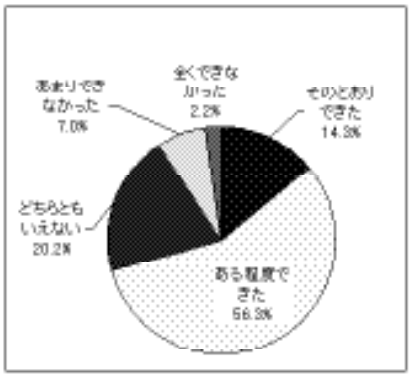



| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 35名 | （ 7.7％） |
| ２ | ある程度できた | 233名 | （51.2％） |
| ３ | どちらともいえない | 128名 | （28.1％） |
| ４ | あまりできなかった | 50名 | （11.0％） |
| ５ | 全くできなかった | 9名 | （ 2.0％） |

○　５割を超える回答者が福祉を受け身ととらえず，自分にできることを考えている。

２－（２）近隣で交流を図り，見守りや助け合いを推進する。

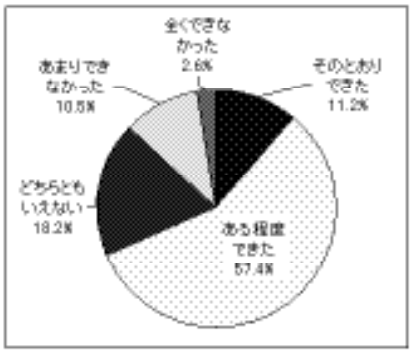
1　そのとおりできた　　65名（14.3%）
2　ある程度できた　　256名（56.3%）
3　どちらともいえない　　92名（20.2%）
4　あまりできなかった　　32名（ 7.0%）
5　全くできなかった　　10名（ 2.2%）




○　７割の回答者が近隣との交流の中で見守りや助け合いを推進している。

２－（３）地域の福祉に関心を持ち，自分の経験や知識を活かしつつ，できることから活動に参画していく。

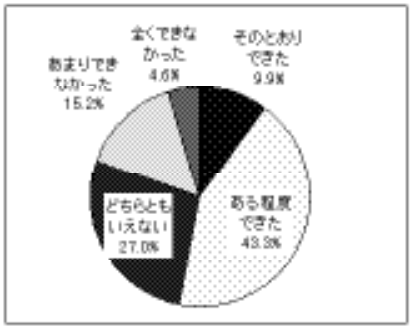
1　そのとおりできた　　51名（11.2%）
2　ある程度できた　　261名（57.4%）
3　どちらともいえない　　83名（18.2%）
4　あまりできなかった　　48名（10.5%）
5　全くできなかった　　12名（ 2.6%）




○　７割弱の回答者が地域の福祉に関心を持ち活動に参画している。

２－（４）一人では活動に参加したがらない人がいたときは，積極的に声をかけ，誘い合う。

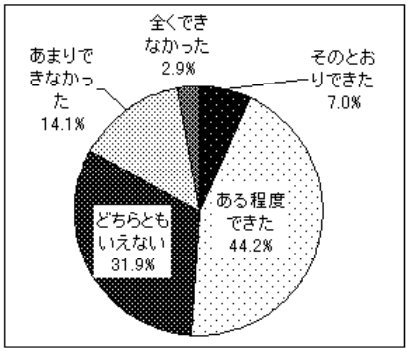
1　そのとおりできた　　45名（ 9.9%）
2　ある程度できた　　197名（43.3%）
3　どちらともいえない　　123名（27.0%）
4　あまりできなかった　　69名（15.2%）
5　全くできなかった　　21名（ 4.6%）




○　約半数の回答者は積極的に声をかけている。

## ３　活動団体の連携体制の整備

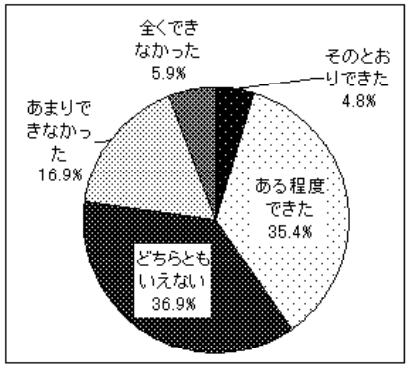
３－（１）様々な団体の活動に関心を持ち，自らが知っている活動の情報については，情報提供を必要としている人に対し，積極的に提供する。




| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 32名 | （ 7.0％） |
| ２ | ある程度できた | 201名 | （44.2％） |
| ３ | どちらともいえない | 145名 | （31.9％） |
| ４ | あまりできなかった | 64名 | （14.1％） |
| ５ | 全くできなかった | 13名 | （ 2.9％） |

○　約半数の回答者は必要している人に対し様々な団体の情報提供を行っている。

３－（２）近隣での交流を図り，地域の実態やニーズを把握するとともに，行政や事業者が現状を認識できるように働きかける。

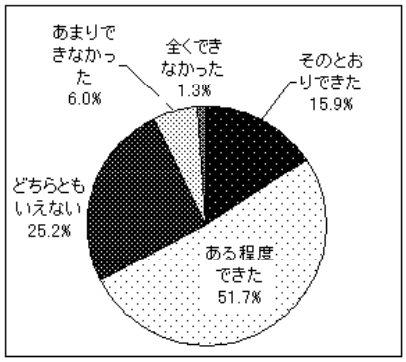



| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 22名 | （ 4.8％） |
| ２ | ある程度できた | 161名 | （35.4％） |
| ３ | どちらともいえない | 168名 | （36.9％） |
| ４ | あまりできなかった | 77名 | （16.9％） |
| ５ | 全くできなかった | 27名 | （ 5.9％） |

○　約４割の回答者が近隣での交流を図り，地域の実態やニーズを把握するとともに，行政や事業者が現状を認識できるように努めている。

## ４　情報の共有化・ネットワーク化の促進

４－（１）プライバシーに対する正しい知識を習得し，過敏になり過ぎない。

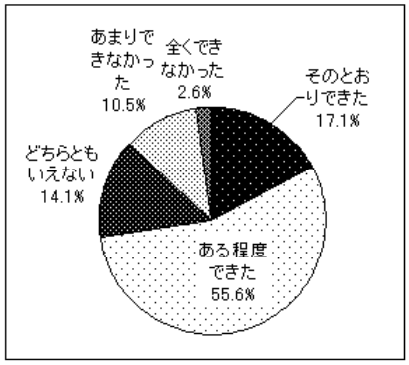



| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 72名 | （15.9％） |
| ２ | ある程度できた | 234名 | （51.7％） |
| ３ | どちらともいえない | 114名 | （25.2％） |
| ４ | あまりできなかった | 27名 | （ 6.0％） |
| ５ | 全くできなかった | 6名 | （ 1.3％） |

○　７割近くの回答者がプライバシーに対する正しい知識の習得に努めている。

４－（２）声かけ等により近隣の実態を把握し，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。

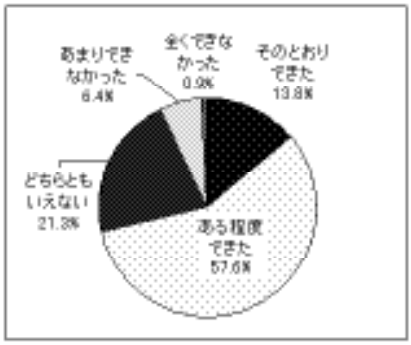
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 78名 | （17.1％） |
| 2 | ある程度できた | 253名 | （55.6％） |
| 3 | どちらともいえない | 64名 | （14.1％） |
| 4 | あまりできなかった | 48名 | （10.5％） |
| 5 | 全くできなかった | 12名 | （ 2.6％） |




○　７割を超える回答者が関係機関と要援助者とのつなぎ役となっている。

４－（３）病気や要介護状態になる前に，日頃から医療や福祉に関心を持つ。

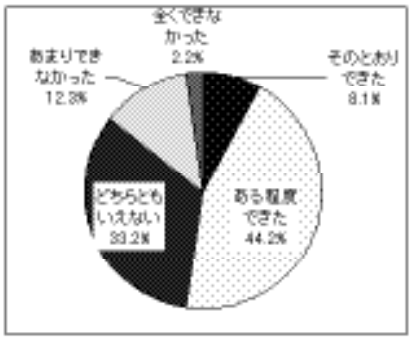
| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 63名 | （13.8％） |
| 2 | ある程度できた | 262名 | （57.6％） |
| 3 | どちらともいえない | 97名 | （21.3％） |
| 4 | あまりできなかった | 29名 | （ 6.4％） |
| 5 | 全くできなかった | 4名 | （ 0.9％） |




○　７割を超える回答者が日頃から医療や福祉に関心を持っている。

４－（４）話し合える仲間や友達を多く作り交流し，自分がいざというときにして欲しいことを知ってもらう。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 37名 | （ 8.1％） |
| 2 | ある程度できた | 201名 | （44.2％） |
| 3 | どちらともいえない | 151名 | （33.2％） |
| 4 | あまりできなかった | 56名 | （12.3％） |
| 5 | 全くできなかった | 10名 | （ 2.2％） |

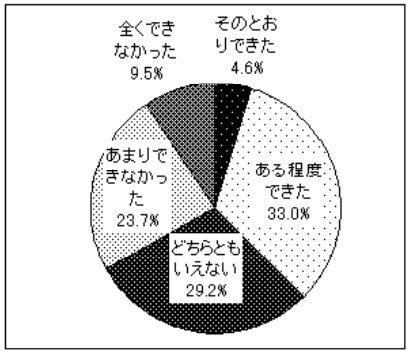



○　約半数の回答者が仲間との交流の中で，いざというときのことについて知ってもらいたいと考えている。

## ５　活動の場としての地域資源の活用

５－（１）地域での子育てやボランティアグループの設立など，自分の経験や知識を活かしながら支援，参画していく。

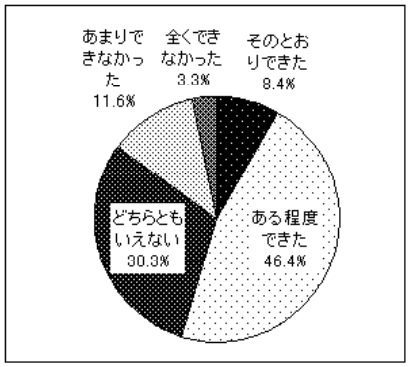
１　そのとおりできた　　21名（ 4.6％）
２　ある程度できた　　150名（33.0％）
３　どちらともいえない　133名（29.2％）
４　あまりできなかった　108名（23.7％）
５　全くできなかった　　43名（ 9.5％）




○　４割弱の回答者が自分の経験や知識を活かしながら支援，参画している一方で，３割を超える回答が，そのような取り組みができておらず，他の項目に比べできなかったとする割合が多くなっている。

５－（２）民生委員や福祉事務所，地域包括支援センターなどの活動に目を向け，情報提供など，自分が手伝えることはないか考えてみる。

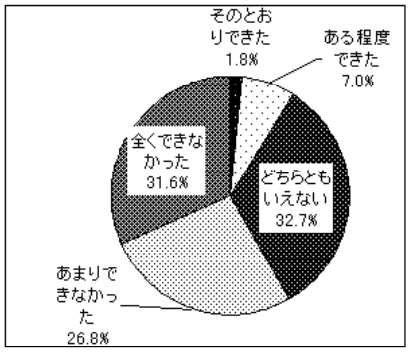
１　そのとおりできた　　38名（ 8.4％）
２　ある程度できた　　211名（46.4％）
３　どちらともいえない　138名（30.3％）
４　あまりできなかった　 53名（11.6％）
５　全くできなかった　　15名（ 3.3％）




○　５割を超える回答者が福祉サービスに対するへ手助けについて関心を持っている。

５－（３）ボランティア活動等の場として，使用しなくなった空き部屋などの活用法を検討する。

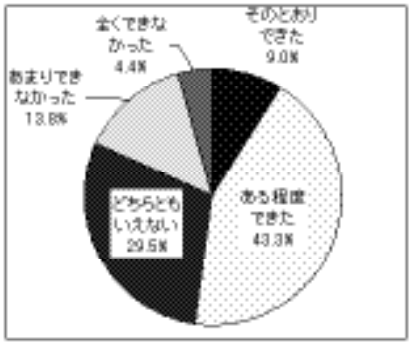
１　そのとおりできた　　8名（ 1.8％）
２　ある程度できた　　32名（ 7.0％）
３　どちらともいえない　149名（32.7％）
４　あまりできなかった　122名（26.8％）
５　全くできなかった　　144名（31.6％）




○　ボランティア活動等の場として，空き部屋などの活用法を検討したのは１割に満たない。

## ６　意識の醸成

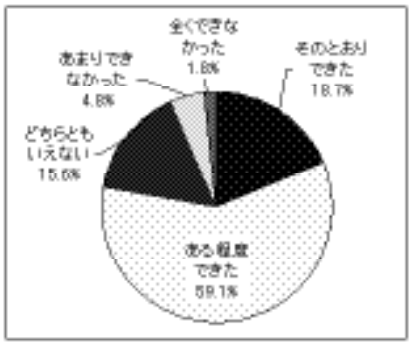
### ６－（１）地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。




| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 41名 | （ 9.0%） |
| ２ | ある程度できた | 197名 | （43.3%） |
| ３ | どちらともいえない | 134名 | （29.5%） |
| ４ | あまりできなかった | 63名 | （13.8%） |
| ５ | 全くできなかった | 20名 | （ 4.4%） |

○　約半数の回答者が地域での子育てやボランティアグループの活動について関心を持っている。

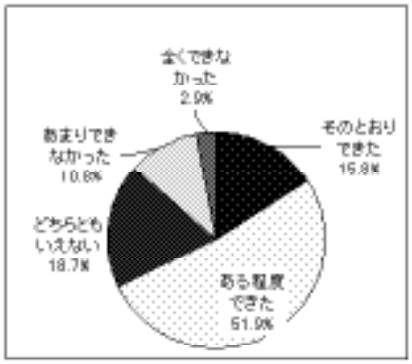
### ６－（２）福祉を特定の人だけのものととらえずに，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。




| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 85名 | （18.7%） |
| ２ | ある程度できた | 269名 | （59.1%） |
| ３ | どちらともいえない | 71名 | （15.6%） |
| ４ | あまりできなかった | 22名 | （ 4.8%） |
| ５ | 全くできなかった | 8名 | （ 1.8%） |

○　８割近くの回答者が福祉を自分にとっても身近に関わる問題としてとらえている。

### ６－（３）病気や要介護状態になる前に，日頃から健康に留意し，生きがいづくりの活動にも参加してみる。

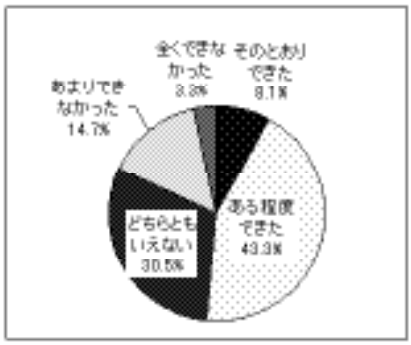



| | | | |
|---|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 72名 | （15.8%） |
| ２ | ある程度できた | 236名 | （51.9%） |
| ３ | どちらともいえない | 85名 | （18.7%） |
| ４ | あまりできなかった | 49名 | （10.8%） |
| ５ | 全くできなかった | 13名 | （ 2.9%） |

○　約７割の回答者が健康に留意し，生きがいづくりの活動に参加している。

６－（４）福祉のまちづくりについて，自分ができることは何かを考え，実践してみる。

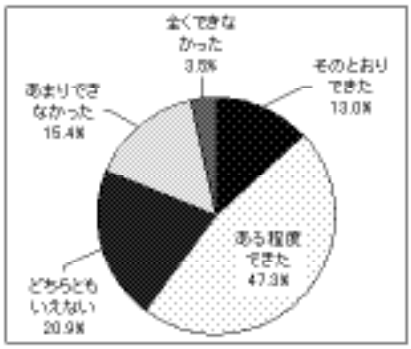
1　そのとおりできた　37名（ 8.1%）
2　ある程度できた　197名（43.3%）
3　どちらともいえない　139名（30.5%）
4　あまりできなかった　67名（14.7%）
5　全くできなかった　15名（ 3.3%）




○　約半数の回答者が福祉のまちづくりに対し関心を持っている。

６－（５）各種交流会や学習会に積極的に参加し知識の習得に努める。

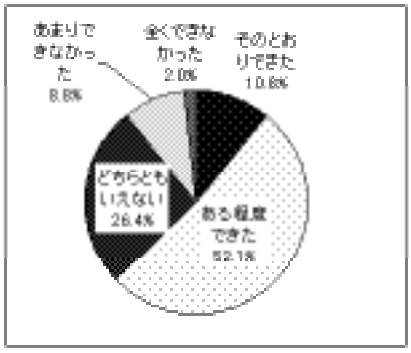
1　そのとおりできた　59名（13.0%）
2　ある程度できた　215名（47.3%）
3　どちらともいえない　95名（20.9%）
4　あまりできなかった　70名（15.4%）
5　全くできなかった　16名（ 3.5%）




○　約６割の回答者が積極的に知識の習得に努めている。

６－（６）サービス利用にあたっては，必要とするものを適正に利用するという意識を持つ。

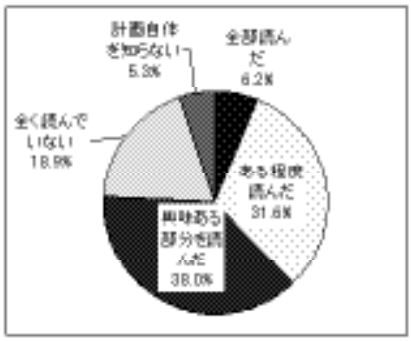
1　そのとおりできた　49名（10.8%）
2　ある程度できた　237名（52.1%）
3　どちらともいえない　120名（26.4%）
4　あまりできなかった　40名（ 8.8%）
5　全くできなかった　9名（ 2.0%）




○　６割超の回答者がサービス利用にあたり，適正に利用する意識を持っている。

●函館市地域福祉計画を読んだことがありますか。

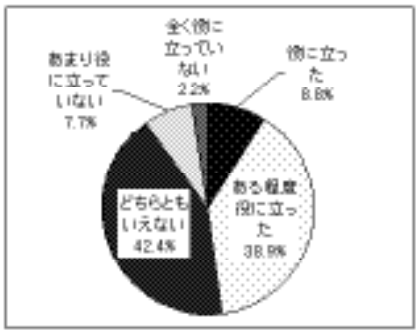
1　全部読んだ　28名（ 6.2%）
2　ある程度読んだ　144名（31.6%）
3　興味ある部分を読んだ　173名（38.0%）
4　全く読んでいない　86名（18.9%）
5　計画自体を知らない　24名（ 5.3%）




○　7割超の回答者が函館市地域福祉計画を読んだことがある。

●地域福祉計画は地域福祉の推進に役立ったと思いますか。

1　役に立った　40名（ 8.8%）
2　ある程度役に立った　177名（38.9%）
3　どちらともいえない　193名（42.4%）
4　あまり役に立っていない　35名（ 7.7%）
5　全く役に立っていない　10名（ 2.2%）




○　5割弱の回答者は計画が地域福祉推進の「役に立った」,「ある程度役に立った」と考えている。

●　「これまでの地域福祉計画の取り組みにあたって不足していたもの」として主な意見は以下のとおり。（回答一覧は後記のとおり）

○一般市民への周知が不足している。
○計画策定後の市の取り組み・活動が不足している。
○地域福祉活動への協力者が不足している。特に若い人材。
○団体同士の横のつながり（ネットワーク）が不足している。
○計画がわかりにくい。
○地域の人たちが気軽に集える場所が不足している。
○具体的な行動目標がないため，計画を読んでもどうしたらよいかわからない。

●　本アンケートの回答者が「所属している町会･団体･サークル等で行っている地域福祉に関する活動」として挙げた主なものについては以下のとおり。

○在宅福祉ふれあい活動（訪問活動，昼食会，茶話会，敬老会等を含む）
○小学校の登下校時の見守り活動
○防犯パトロール活動
○地域における清掃活動
○多世代交流活動（餅つき，コマ回し・かるた等の昔遊びなど）
○高齢者宅の軽易な援助活動（雪かき，電球の取り替えなど）
○健康講座の開催
○資源回収活動

## 「これまでの地域福祉計画の取り組みにあたって不足していたもの」回答一覧

| 性別 | 年齢 | 回　答 |
|---|---|---|
| 未記入 | 未記入 | 余りにも堅苦しく取り付きにくい。 |
| 女 | ６５歳～ | 計画は役所的で理解しづらい。内容を端的にし，誰もが理解できる様にやさしいまとめにしたものにして欲しい。 |
| 女 | ６５歳～ | 独居老人だけでなく，高齢夫婦の世帯にもふれあいサービスが出来るようにして欲しい。 |
| 男 | ６５歳～ | 独居老人はもちろん，高齢夫婦への在宅福祉活動の取組みが必要になってきている。 |
| 未記入 | ４０～６４歳 | 書類の簡素化，高齢者の増加対策。 |
| 女 | ６５歳～ | 計画内容等が広く市民に周知されていない。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 計画をより広く市民に知らせることが大切。計画は立派でも実態との相違があれば改善点を検討すべきである。 |
| 男 | ６５歳～ | 福祉に関することで町会員に声かけ運動をするも，他人事の様にとらえる人が多く，普及のPRが足りないと思う。 |
| 男 | ６５歳～ | PR活動が不足している。 |
| 男 | ６５歳～ | 地域福祉計画が市民に知られていない。 |
| 男 | ６５歳～ | 広報等でのPR。 |
| 男 | ６５歳～ | 普及方法について，一般市民への啓発が少ないように思われる。 |
| 男 | ６５歳～ | 良い取組みであっても広く知られていない（周知）。良い取組みがされても，利用者が少ない（交通の便）。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 高齢化の速度が早すぎる，集会等は８０歳が限度です。地域福祉に関心が薄い。まだまだ声かけ運動が不足している。 |
| 男 | ６５歳～ | 在宅福祉活動をして感じることは対象者について心得をもう少し普及させて欲しいと思う。 |
| 未記入 | ４０～６４歳 | 普及・啓発活動が弱いように感じた。 |
| 女 | ６５歳～ | 具体的な普及方法が分からない。 |
| 女 | ６５歳～ | 新聞，広報，社協だより等で市政の情報は得ているつもりだったが，地域福祉計画については知らなかった。もう少し活発に一般市民向けに啓蒙啓発をしてもらいたい。 |
| 未記入 | ６５歳～ | 地域福祉計画の冊子は今まで一度も配布されたことがなく在宅福祉に関わっておりますが，市・社協は配布お願いします。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 市の普及方法が良くわからない。５年間も福祉の推進に努めている割には一般に良く理解されているとは思わない。 |
| 男 | ６５歳～ | 全体像がよく見えてこない。具体的協力が分からない。 |
| 男 | ６５歳～ | 普及方法。 |
| 男 | ６５歳～ | 行政に期待するものでは自身の取組の問題姿勢である。 |
| 女 | 未記入 | 計画の内容，市の取組等書面においては良いが，一般市民に普及させるために努力が必要である。<br>例）説明会を開いても出向く人が少なく，高齢者世帯が多くなっている現在，活字を大きく，内容を簡素化し相談の窓口の電話番号等をプリントアウトして配布するなど。 |
| 女 | ６５歳～ | 計画の内容についての広報，普及方法についての説明等が足りないので，市の取組みの姿勢も見えてこないのだとおもう。<br>広報には全て目を通していますが，記憶に残っていないのは，内容が現実的でなかったのかもしれません。 |

| | | |
|---|---|---|
| 女 | ４０～６４歳 | 参加してみたくなるようなパンフレットづくりをお願いしたい。 |
| 男 | ６５歳～ | もっとPRをした方が良い。 |
| 男 | ６５歳～ | 普及方法についてのアピール不足一各町会から５，６名出席してもらい取組み説明が必要である。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 利用可の施設をPRして欲しい。車を持っていない人でも施設利用できるような対策はないか。東央部から福祉センターへは行きづらい。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 福祉計画のPR。わかりやすいアンケートにして欲しい。 |
| 未記入 | 未記入 | 市の姿勢は立派だが，市民には全く浸透していない。町内会を頼らず，直接市民へアピールしてください。 |
| 女 | ６５歳～ | ・生保者へのケースワーカーの取組みは不十分。<br>・地域福祉行政の情報伝達は市民への周知が乏しい。<br>・特養施設を増やして欲しい。何年も待っている人がいる。 |
| 未記入 | ４０～６４歳 | 普及啓発。福祉のまちづくりの基本的な考え方。目指すまちの姿などいろいろな活動に積極的に参加することであるとか。様々なふれあいを大事にするとか，わかりやすい言葉で一人ひとりに伝えることだと思います。情報があるということは知っていてもどこに聞けばよいのか具体的に理解できていないことが多いのでは。 |
| 男 | ６５歳～ | 策定までの会合は数度開かれたが，策定後はPR不足。地域での取組みに差があるのではないか。 |
| 男 | ６５歳～ | 子育てやボランティアグループ等設立と有るが子どもの減少している中で重要視すべきでないと思う。子どもを産める状態を考えて行くべき。 |
| 女 | ６５歳～ | 在宅福祉（ふれあい事業）について，地域の民生委員は充分に在宅福祉活動をしていると思う。本当にふれあい事業は必要なものか見返して欲しい。事業費を他に回した方が良いと思う。 |
| 女 | ４０～６４歳 | ボランティア活動を行う人も限りがあるので，活動援助予算を立てて欲しい。 |
| 男 | ６５歳～ | 今回の設問には財政上の保障が何ら述べられていない。また，抽象的である。簡潔で誰でもがわかりやすく現状をもっと掘り下げ，検証して欲しい。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 福祉サービスが整備される一方で，制度の間にある人，関わりを拒む人，地域での孤立している人への地域のネットワークづくりと仕組みの説明。 |
| 男 | ６５歳～ | 計画はまあまあとしても，地域の具体的取組みへの相談など，きめ細やかな関わり方が少ない。担当者が少ないため無理かな？ |
| 女 | ４０～６４歳 | 市の取り組み姿勢。 |
| 男 | ６５歳～ | 数年前に市から「地域福祉計画」が送付されて，それっきり。計画書は町会館書棚に入ったままで，５年経ったからアンケートに答えろといわれても答えに苦しむ。市は計画を作ったぞと地域へ送って後は放置するのではなく，行政が普及活動を具体化しなければ地域は動かないし，効果も出ないと思う。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 各種ボランティア・市の各種講習会等の地域への積極的働きかけが弱いのではないかと思う。 |
| 男 | ６５歳～ | 市が取組み不足。 |
| 男 | ６５歳～ | 市の取り組みが充分とはいえないので，今後努力を要する。 |
| 男 | ６５歳～ | 計画を作るだけではだめ。作った計画をどう地域に浸透させるかが大事である。 |
| 未記入 | 未記入 | 計画は大きく取組みは小さくという感じがします。 |

| | | |
|---|---|---|
| 女 | ４０～６４歳 | 函館市の地域福祉計画には敬意を表するが，４年を経過した現在，地域住民にこの計画が充分に周知されていないと思う。<br>活動団体やボランティア等整備が整っていない現状を，市は客観的姿勢で期待をかけているように感じられる。<br>函館市が主体となり情報収集等必要な地域のニーズを積極的に把握し今一度体制の整備を図っていただければと願う。 |
| 男 | ６５歳～ | 計画は立案しても，その計画を実施する行政の動きは全く感じられない。行政は計画を立てればそれでよいというものではないのではないか。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 目標は素晴らしいが，善意の頑張りに頼りすぎではないか。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 市の計画・取組み方をもう一度見直してみること大事，末端までいっていないように思う。 |
| 男 | ６５歳～ | 総花的で，範囲を広げすぎであり，実現は無理。もっと地味なものに絞り，永続できる方法が作れないか。 |
| 男 | ６５歳～ | 福祉計画に係るものはいつも抽象的で意味が分からない。このアンケートも文言が長く抽象的，しかも同じような表現が何回も出てきて，意図することが理解しがたい。 |
| 男 | ６５歳～ | 今回のアンケートの内容は形式的で理解しがたい。この結果はまとめたものを資料として広報していただけるのか。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 計画内容が不透明で良くわからない |
| 女 | ６５歳～ | 小学校のPTA組織が地域福祉への理解と協力が得られるよう市の取組みが欲しい。 |
| 男 | ６５歳～ | 市内には多数の在宅福祉委員会が組織されているが，活動内容がわかりにくい。そのためブロックごとでも研修会を企画し，それぞれの持つ活動状況を発表するなど質の高い活動を推進できるようにして欲しい。<br>活動内容を充実させるための予算の増額をお願いしたい。 |
| 未記入 | 未記入 | 高齢者がいろいろと利用できる場所をもっと作って欲しい。 |
| 女 | ６５歳～ | 弱者が自由に集う福祉施設がない。小規模でよいから方面に１か所あっても良いのでは。例えば，閉校になった北高などを改良して各地域が中心となり運営し，内容により有料化も考えて，物作り，勉強，集いの場などにして欲しい。 |
| 男 | ６５歳～ | 普及に努力しているという感じは受け取れない。 |
| 男 | ６５歳～ | 具体的取組み，実行への市の対応のまずさ（民間に依存しすぎる，計画だけ作ってもナンセンス，市職員の意識，意欲が感じられない） |
| 未記入 | 未記入 | 市の住民参画を促すリーダーシップがもっとあればよい。町に出向く専門性のある行政職員を配置すべき。その上で，住民参加の策定ワークショップを圏域や方面ごとに複数設置していくなど，準備段階からの協働を。 |
| 未記入 | ４０～６４歳 | 実践活動における行動指針と予算措置。 |
| 女 | ６５歳～ | 同じ地域のなじみの人間関係の中のサービスはとても良いと思う。サービスの質の向上とあるが，資格の向上はペーパーだけで頭でっかちの資格者はいらないのではないか，やる気のある心のある者を見極めるのがよいと思う。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 市役所退職者は地域の福祉活動に協力するよう希望します。現役の時代に地域に協力を呼びかけたのに退職後は知らんぷりしないでください。 |
| 男 | ４０～６４歳 | パンフレットが欲しい。 |
| 女 | ６５歳～ | 細々なことで希望がある。健康体操など老人は無料とか，谷地頭温泉行きのバスが無料で走ってくれるとか，田舎の人たちより恵まれていない私たち！！ |
| 女 | ６５歳～ | 高齢者が増加しているので，地域の老人福祉センター（湯川）を早く新しく建て直して欲しい。 |

| | | |
|---|---|---|
| 男 | ６５歳～ | 上部の計画通りで市民がなにを申しても言うだけ無駄である。 年度当初にもう計画ができあがっている。 |
| 男 | ４０～６４歳 | ・計画の周知（わかりやすく，何度も，いろいろな手段で）<br>・市民の人的ネットワークづくり<br>・町内会との連携<br>・福祉計画の理念の浸透の努力と，実現のための具体的方策<br>・学校（小，中，高校の児童生徒及びPTA）と福祉のドッキング～例：校区福祉委員会の設置と展開～<br>・市役所から出て実際の現場に足を運ぶ福祉部の活動（顔が，人が見えない）<br>・福祉関係機関同士のネットワークづくり（更に，教育，医療とのネットワークへ）<br>・災害時を想定した子ども～大人，老人までの地域救助協力体制づくり<br>・その他（青少年育成の地域基盤づくり，事業の福祉から育てる福祉への転換） |
| 女 | ６５歳～ | 防災マップ作り。 |
| 女 | ６５歳～ | 歩道の点字ブロックが不完全の箇所が多い。健常者でも危ない。 工事担当者が弱者を思って工事をしているとは思えない。 |
| 未記入 | 未記入 | 福祉部局，保健部局での情報を一元化して欲しい。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 財源。 |
| 男 | ６５歳～ | この地域福祉計画については，その存在自体知らない市民が多いと思う。まして具体的な内容，取組みへの理解ということになると福祉関係者にすら充分行き届いているとはいえない気がする。基本理念に掲げる「住民参加」を実のあるものにし，計画の実効性を期待するためにはまず何よりも福祉計画に対する啓発・行動をより緻密に，継続して進めることが肝要と思われる。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 普及方法を再考すべき。計画を知らなかった。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 計画のみで，具体的進め方が分からない。 |
| 女 | ６５歳～ | 市の取り組み姿勢。 |
| 女 | ６５歳～ | 余り詳しく分からない。 |
| 男 | ６５歳～ | ・福祉は分野が広いので総花的になりやすい。一番大事なものに項目を絞り，行動目標を具体的に立て評価し次年度以降に広げていくことが大切です。目線を下げ市民が行動しやすい地域の組織化を行政が考えること。<br>・地域ごとに行動が違っても良いと思う。評価をきちんとすることによって次の課題が出てくると思う。そうなれば再び計画を立てられるだろう。<br>・地域の組織化が必要。その中心となるのは町会であろうと思うので，具体的な行動目標を与えてみたらどうか。 |
| 男 | ６５歳～ | 地域福祉の広報活動を行っているが，高齢者にも見やすい，資料として日常活用できるものにして欲しい。 介護を受けている方への心のケアがもっと必要ではないか。<br>町会，民生児童委員，在宅福祉委員会等のネットワークづくりが課題である。老人孤独死対策を地域で取り組む態勢づくりが必要だと思う。 |
| 女 | ６５歳～ | この地域は高齢者が多く，小・中学校児童をほとんど目にすることがない。地域のこれからを託す若い（４０，５０代）世代がもっと地域福祉や町会活動に関心を持って参加して欲しい。 このような取組みが出来るように，市の助力と指導をもっともっと期待している。 |
| 男 | ６５歳～ | 地域福祉計画で目指すものを具現化するには，行政・各種団体などがそれぞれの立場で取り組むべき。<br>町会レベルで考えるとき，目指している目標・内容の実現に向けて町会等でどう取り組まれているか，町会自身，市役所として調査し，評価させることを考えていただければ内容の濃いものを作り出せると思う。 |

| | | |
|---|---|---|
| 男 | ４０～６４歳 | いろいろな地域の具体的な活動が広く伝われば良いと思う。 |
| 未記入 | 未記入 | 福祉計画については，金と人材の不足を痛感させます。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 取組みに沿った，自分の実践が不足しているように思う。 |
| 男 | ６５歳～ | 問題が発生しないと動けない現実（警察・役所），町内会の存在意義。 |
| 未記入 | ６５歳～ | 住宅の中に小さな公園がたくさんあるが，普段利用されておらず，遊具もないように思う。もっと小さい子どもたちもたくさん集まれるような親子が一緒に楽しめるような場所が身近にあると近所の付き合いも密になると思う。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 市政には経済困窮の中明るく安心・安全なまちづくりにまい進していただきたい。 |
| 男 | ６５歳～ | 健全な家庭生活・夫婦の愛・兄弟愛・人間を愛し，生き物を愛する教育を行うべき。 |
| 女 | ６５歳～ | 低額老人ホームをたくさん作って欲しい。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 老人施設の充実をはかって欲しい。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 独居老人への訪問をもう少しこまやかにし，民生委員や在宅委員に目配せしてもらっても良いのでは。 |
| 男 | ６５歳～ | 在宅福祉の活動で声かけ運動が多いが，食事・茶話会の経験談が聞こえてこない |
| 男 | ４０～６４歳 | 住民参加・人材育成の促進については，まだまだ不足であるとともに若い世代の地域活動への参加をよびかけて欲しい。次世代の人材育成が急務になっている。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 行政と我々とのパイプ役的職員の絶対的不足があることが一番問題である。部署の頻繁な異動により人材の適正化がなされていない。 |
| 男 | ６５歳～ | 最近独居老人にみられる傾向として町会員をやめたいとの声があり，福祉活動に支障がある。 |
| 未記入 | 未記入 | 地域として活動に協力する人が少なく悩んでいる。 |
| 男 | ６５歳～ | 高齢化社会が進んでいる昨今，町会活動に参加し協力する人が少ない。明るく住みよいまちにするために市が取り組もうとしている事柄に市職員の積極的参加を要望したい。 |
| 男 | ６５歳～ | 町会のボランティア活動の参加について呼びかけているが市の退職者は協力しない。 市職員のボランティア活動・町会活動への参加についての教育も必要と思う。 |
| 女 | ６５歳～ | 協力者が少ない。 |
| 女 | ６５歳～ | 若い人の協力が不足。 |
| 女 | ６５歳～ | 私の住んでいる地域は高齢者が多く，子どもの声がほとんど聞こえません。若い夫婦が気軽に入居できるような住宅や環境が欲しい。そして積極的に町会活動や福祉活動に協力し，参加して欲しいと思う。 |
| 男 | ６５歳～ | 福祉活動の人材の育成。特に若者の参加の呼びかけ。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 計画ばかりが目立って，自分や隣の人が本当に困っていることなどが取り上げられることが少ない。近所の関係が薄いので， 邪魔をせずに良い関係ができるような具体的な方法はないものだろうか。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 自分自身が今まで積極的に参加してこなかったことを深く反省しています。 |
| 男 | ４０～６４歳 | 良い取組みがあっても，地域的なこともあって利用が少ないと思われる。 |
| 男 | ６５歳～ | 地域福祉活動を行うにあたっても個人のプライバシー等の関係で福祉活動として取り組もうとする事項でも余り深入りしないようにするため，何事も中途半端なものに終わってしまうことが多い。 |
| 男 | ６５歳～ | 横のつながり（ネットワークづくり）が未だ充分でないと思う。 |
| 女 | ４０～６４歳 | 地域の子ども会と町会との関係が希薄で活動には，形の上ではつながりがあっても，中身的には横のつながりがありません。 努力の価値有り。 |
| 男 | ６５歳～ | 町会役員と福祉委員の交流回数があまりないようなことを聞いている。 |

「地域福祉に関する活動」回答一覧

| 性別 | 年齢 | 回　答 |
|---|---|---|
| 男 | 65歳～ | 小学校の登下校時の見守り活動，町会まつり時の交通整理，街路樹への花の移植 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，防犯パトロール，在宅福祉，健康相談室，健康学習会 |
| 男 | 65歳～ | 防犯パトロール，小学校下校時の指導 |
| 女 | 40～64歳 | 交通安全，防犯パトロール |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，防犯パトロール，在宅の見守り，再生物の収集，歩道の除雪，高齢者の日常活動の援助 |
| 男 | 65歳～ | ふれあい事業等を通して，独居老人等との交流を深めている。町内の表通りの街路樹事業で明るい街づくりと防犯等に努めている。 |
| 女 | 未記入 | 民生委員・町会のふれあい事業の担当委員として地域の独居老人宅等を訪問し声かけ，話し相手，相談相手となり関係機関への橋渡しをする。 |
| 男 | 65歳～ | 町会で新一年生の登下校時の見守りを行っている。また，防犯パトロールも行っている。 |
| 女 | 40～64歳 | 児童公園遊具の点検 |
| 男 | 65歳～ | 特定高齢者への配食サービス，老人クラブへの積極的な協力・支援 |
| 男 | 65歳～ | 在宅福祉の事業として，ふれあい会食会を開いている |
| 女 | 未記入 | 訪問事業・会食事業・訪問理髪事業 |
| 男 | 65歳～ | 歳末警戒パトロール |
| 女 | 40～64歳 | 地域の漁業一般トイレの清掃活動・小学校の交通安全活動 |
| 男 | 65歳～ | 小学校の登下校時の見守り活動については，学校格差があり積極的な協力・支援を要請しているところとそうでないところがある。総合的な取組みが必要である。 |
| 女 | 未記入 | 在宅福祉ふれあい事業 |
| 女 | 65歳～ | 防犯パトロール活動，在宅福祉委員会，児童会行事に参加 |
| 女 | 65歳～ | 登下校時の見守り活動，防犯パトロール，在宅福祉，児童館行事に協力，施設のおしぼりたたみ |
| 男 | 40～64歳 | 亀田地区ではボランティア団体がひとつの組織になり，亀田社協と連携して亀田地区の児童館でボランティア活動をしている。 |
| 女 | 40～64歳 | 登下校時の見守り，ふれあい事業，昼食会，高齢者世帯マップ作成し，民生委員個々に持参 |
| 女 | 40～64歳 | 更生保護女性会 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，防犯パトロール，茶話会，声かけ，独居老人宅の雪かき |
| 男 | 65歳～ | 声かけ，茶話会，講話会 |
| 女 | 40～64歳 | 見守り活動，防犯パトロール |
| 女 | 65歳～ | 防犯パトロール |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り |
| 男 | 40～64歳 | 登下校時の見守り活動，児童館活動の支援 |
| 女 | 65歳～ | 子どもを守る会および町会の防犯活動， |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り活動，防犯パトロール活動 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，独居老人への安否確認・誕生祝い品贈呈 |
| 男 | 40～64歳 | 登下校時の見守り，在宅福祉活動 |
| 女 | 40～64歳 | 児童と福祉施設の交流，高齢者とのふれあい・見守り活動 |

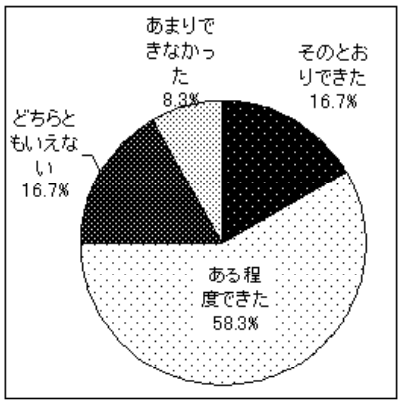
| | | |
|---|---|---|
| 女 | 65歳～ | 在宅福祉活動 |
| 男 | 65歳～ | 見守り安否確認，交流茶話会開催 |
| 女 | 40～64歳 | 夜回りパトロール，町会健康教室，長期休み子ども広場，春・秋のハイキング |
| 女 | 未記入 | 在宅福祉活動ふれあい活動，登下校時の見守り |
| 女 | 40～64歳 | 在宅福祉ふれあい活動 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，児童との清掃活動 |
| 女 | 未記入 | 不審者が出たということで見守り活動をした。 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，防犯パトロール |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り，高齢者世帯の安否確認 |
| 男 | 65歳～ | 小学校児童を対象に巡視活動，防犯・防災パトロール，高齢者世帯への声かけ |
| 女 | 40～64歳 | 登下校時の見守り，高齢者世帯の安否確認，防犯パトロール，地域清掃活動 |
| 女 | 40～64歳 | 在宅福祉声かけ活動 |
| 女 | 40～64歳 | 在宅福祉声活動，登下校時の見守り，防犯パトロール |
| 男 | 40～64歳 | 登下校時の見守り，自己所有の駐車場に献血車を招き献血活動を行っている。 |
| 女 | 40～64歳 | 声かけ |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り |
| 女 | 65歳～ | 在宅福祉活動による昼食会，長期休みの少年の集い。 |
| 男 | 40～64歳 | 小学校の交通安全指導および緊急時の安全指導。町会の高齢者声かけ運動及び相談 |
| 男 | 65歳～ | 町会活動での防災・交通安全・防犯パトロール・花壇づくり等 |
| 男 | 65歳～ | 在宅福祉活動，カラオケ会や町内清掃 |
| 男 | 40～64歳 | 清掃活動・防犯パトロール・登下校時の見守り |
| 女 | 65歳～ | 食事会の開催・安否確認活動 |
| 女 | 65歳～ | 在宅福祉ふれあい活動 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り・安否確認 |
| 男 | 65歳～ | 高齢者への声かけ，防災活動 |
| 女 | 40～64歳 | 登下校時の見守り，防犯パトロール，乳児院の手伝い，子育てサークルとの交流，生きがいづくりのための趣味の活動 |
| 女 | 65歳～ | 老健施設慰問，独居老人の声かけ，更生保護の夕食づくり |
| 女 | 40～64歳 | 在宅福祉活動，登下校時の見守り，防犯パトロール |
| 男 | 40～64歳 | 登下校時の見守り |
| 男 | 40～64歳 | ・小学校の登下校時の見守り活動<br>・防犯パトロール<br>・公園整備作業<br>・八幡宮祭典にあわせた町内会子どもみこし<br>・地域学校（小，中）の校外生活委員会への参加と協力 |
| 男 | 65歳～ | 清掃活動，防犯パトロール，声かけ運動 |
| 女 | 65歳～ | 在宅福祉活動 |
| 男 | 65歳～ | ふれあい活動 |
| 女 | 未記入 | 在宅福祉，親睦会，防犯パトロール，クリーン活動 |
| 男 | 65歳～ | 在宅福祉活動，登下校時の見守り活動，防犯パトロール |
| 男 | 未記入 | 在宅福祉活動，三世代交流事業（夏祭り，餅つき） |

| | | |
|---|---|---|
| 女 | 65歳～ | （民児協）登下校時の見守り活動－住民が多く，事件なども発生することがあり，町会でも行っているが，民児協で自分たちの帽子，ジャンバーを用意し，防犯パトロールも行っている。<br>（在宅福祉委員）世代間交流や，高齢者向けの見学，食事会，温泉を楽しむ会など地域に根差した活動を行っている。 |
| 男 | 65歳～ | 登下校時の見守り活動・防犯パトロール・独居老人宅の訪問 |
| 女 | 未記入 | 親子及び世代間交流会・児童の事故防止活動 |
| 女 | 未記入 | 防犯パトロール，小学校の登下校時の見守り，声かけ運動 |
| 女 | 65歳～ | 防犯パトロール，独居老人の食事会，銭湯貸し切り食事カラオケ，独居老人に声かけ |
| 女 | 40～64歳 | 社会学級に参加し学校に通うことにより子どもたちを見守るが，関わり，接点がない。 |
| 女 | 40～64歳 | それぞれの団体はあっても横のつながりが希薄。町会と子ども会など。お互いの歩み寄りが必要。 |
| 女 | 40～64歳 | 下校時の見守り活動，防犯パトロール，在宅の訪問 |
| 女 | 65歳～ | 小学校の登下校時の子どもを守る会，在宅福祉委員会による高齢者の安否の確認 |
| 女 | 40～64歳 | 雑巾を作って施設に寄付している |
| 女 | 40～64歳 | ボランティア団体に属し高齢者の問題について小さな集まりを大切にして話し合いを持った。 |
| 女 | 65歳～ | 防犯パトロール |
| 男 | 65歳～ | 年末に防犯パトロールを町会役員が実施している |
| 男 | 40～64歳 | 小学校下校時，児童を送る，防犯パトロール，老人施設レク活動 |
| 男 | 40～64歳 | 防犯パトロール |
| 女 | 40～64歳 | 安全パトロール |
| 女 | 40～64歳 | 登下校時の見守り活動・防犯パトロール |
| 女 | 40～64歳 | 防犯パトロール |
| 男 | 40～64歳 | PTA活動 |
| 男 | 40～64歳 | 資源回収活動 |
| 男 | 40～64歳 | 地域の介護施設と児童の交流会 |

## ３　団体アンケート結果

### １　地域での支援体制の構築

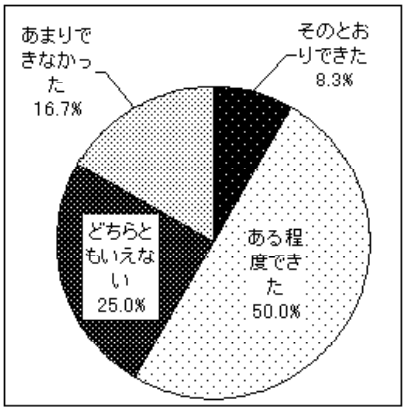
１－（１）福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。




| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 2団体（16.7%） |
| ２ | ある程度できた | 7団体（58.3%） |
| ３ | どちらともいえない | 2団体（16.7%） |
| ４ | あまりできなかった | 1団体（ 8.3%） |
| ５ | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　１２団体中９団体が情報交換等のできる場を設けている。

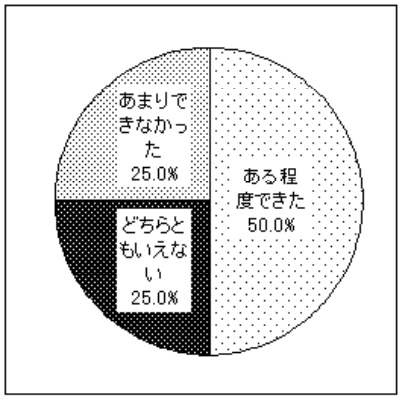
１－（２）活動団体同士が持つ情報を共有し，身近な地域で様々な立場から支援することができる体制をつくる。




| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 1団体（ 8.3%） |
| ２ | ある程度できた | 6団体（50.0%） |
| ３ | どちらともいえない | 3団体（25.0%） |
| ４ | あまりできなかった | 2団体（16.7%） |
| ５ | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　７団体が活動団体同士の情報共有や，身近な地域で様々な立場から支援する体制づくりに努めている。

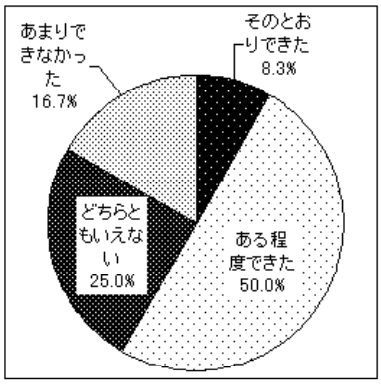
１－（３）行政と市民をつなぐ活動を充実する。




| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| ２ | ある程度できた | 6団体（50.0%） |
| ３ | どちらともいえない | 3団体（25.0%） |
| ４ | あまりできなかった | 3団体（25.0%） |
| ５ | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　６団体が行政と市民をつなぐ活動に努めている。

１－（４）そこに行けば誰でも必要な情報や相談を受けられるような仕組みを考え，実践してみる。

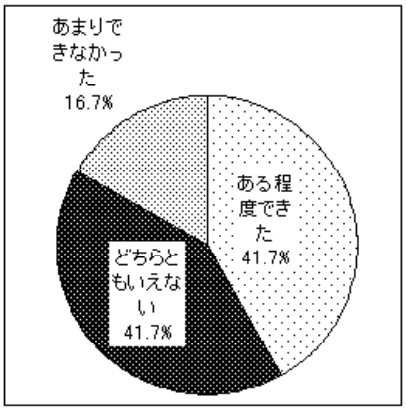



| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 1団体（ 8.3%） |
| 2 | ある程度できた | 6団体（50.0%） |
| 3 | どちらともいえない | 3団体（25.0%） |
| 4 | あまりできなかった | 2団体（16.7%） |
| 5 | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　７団体が相談体制の仕組みについて考え，実践していることがわかる。

## ２　住民参加・人材育成の促進

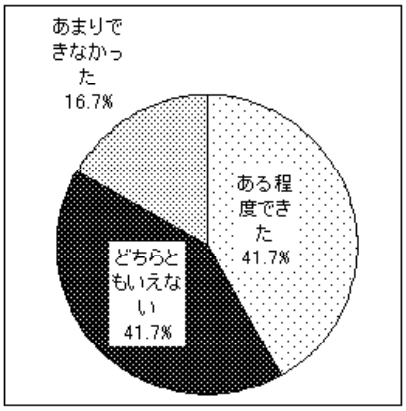
２－（１）福祉に関わる活動について，市民で話し合いをしたり活動の情報交換ができる場を設ける。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 5団体（41.7%） |
| 3 | どちらともいえない | 5団体（41.7%） |
| 4 | あまりできなかった | 2団体（16.7%） |
| 5 | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　５団体が福祉に関わる活動について，話し合いや情報交換ができる場を設けている。

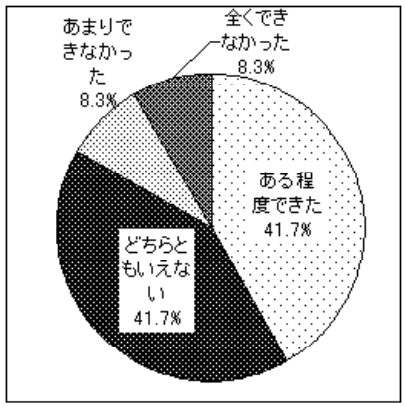
２－（２）町会館等の身近な場所で活動の体験ができるようにするなど，住民参加の機会を提供する。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 4団体（41.7%） |
| 3 | どちらともいえない | 3団体（41.7%） |
| 4 | あまりできなかった | 5団体（16.7%） |
| 5 | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　４団体が住民参加の機会を提供している。

２－（３）地域活動への体験的な参加が継続されていくための方策を検討する。

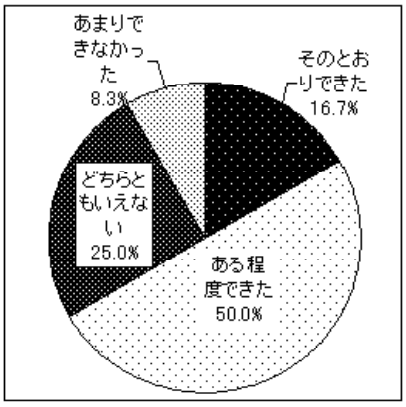



1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　5団体（41.7%）
3　どちらともいえない　　5団体（41.7%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　1団体（ 8.3%）

※　５団体が地域活動への体験的な参加が継続されていくための方策を検討している。

## ３　活動団体の連携体制の整備

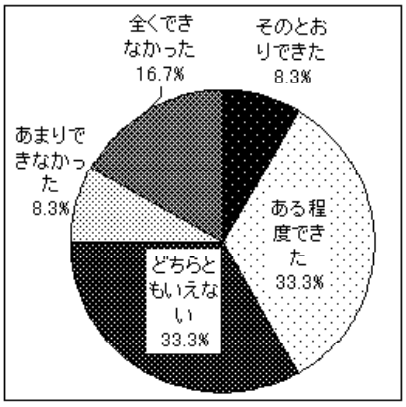
３－（１）福祉に関わる活動団体の情報を交換できる場を設ける。




1　そのとおりできた　　2団体（16.7%）
2　ある程度できた　　6団体（50.0%）
3　どちらともいえない　　3団体（25.0%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　0団体（ 0.0%）

※　８団体が福祉に関わる活動団体の情報交換の場を設けている。

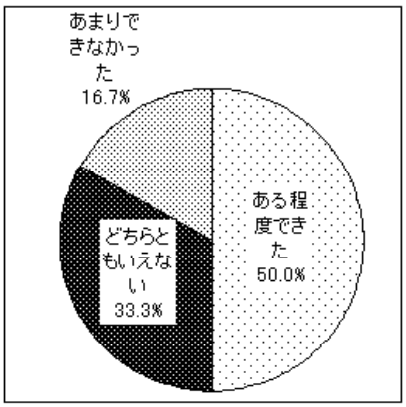
３－（２）活動団体同士が持つ情報を広く共有し，地域の枠を越えた様々な立場からでも支援することができる体制をつくる。




1　そのとおりできた　　1団体（ 8.3%）
2　ある程度できた　　4団体（33.3%）
3　どちらともいえない　　4団体（33.3%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　2団体（16.7%）

※　５団体が活動団体同士の情報共有や，様々な立場からの支援体制づくりに努めている。

３－（３）地域の中で保健師・ケアマネジャー・かかりつけ医等のつながりをつくる。

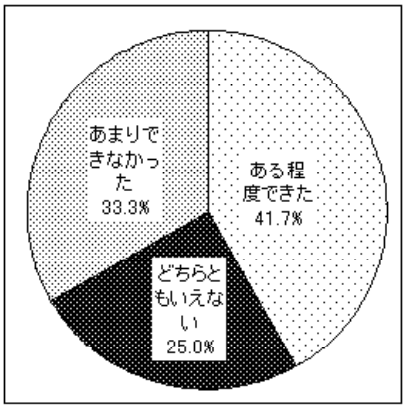



| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| ２ | ある程度できた | 6団体（50.0%） |
| ３ | どちらともいえない | 4団体（33.3%） |
| ４ | あまりできなかった | 2団体（16.7%） |
| ５ | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　６団体が保健師・ケアマネジャー・かかりつけ医等のつながりづくりに努めている。

## ４　情報の共有化・ネットワーク化の促進

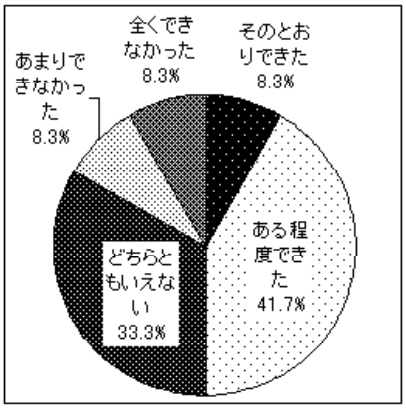
４－（１）福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。




| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| ２ | ある程度できた | 5団体（41.7%） |
| ３ | どちらともいえない | 3団体（25.0%） |
| ４ | あまりできなかった | 4団体（33.3%） |
| ５ | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　５団体が福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設けている。

４－（２）活動団体同士が持つ情報を共有し，活動に反映できる体制をつくる。

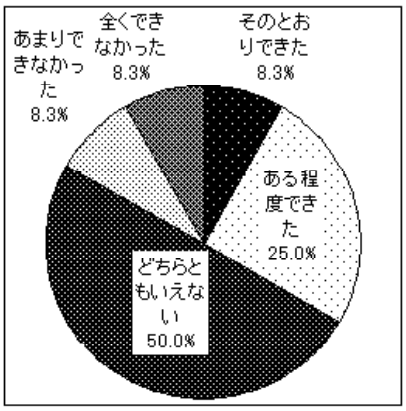



| | | |
|---|---|---|
| １ | そのとおりできた | 1団体（ 8.3%） |
| ２ | ある程度できた | 5団体（41.7%） |
| ３ | どちらともいえない | 4団体（33.3%） |
| ４ | あまりできなかった | 1団体（ 8.3%） |
| ５ | 全くできなかった | 1団体（ 8.3%） |

※　６団体が活動団体同士が持つ情報を共有し，活動に反映できる体制づくりに努めている。

４－（３）関係団体同士の情報ネットワークづくりを進める。

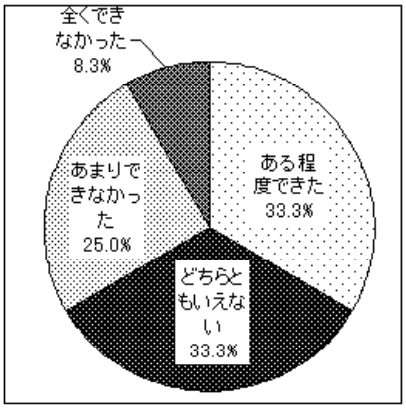
1　そのとおりできた　　1団体（ 8.3%）
2　ある程度できた　　3団体（25.0%）
3　どちらともいえない　　6団体（50.0%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　1団体（ 8.3%）




※　４団体が関係団体同士の情報ネットワークづくりに努めている。

４－（４）プライバシーの尊重など，社会福祉に係る倫理研修を実施する。

1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　4団体（33.3%）
3　どちらともいえない　　4団体（33.3%）
4　あまりできなかった　　3団体（25.0%）
5　全くできなかった　　1団体（ 8.3%）

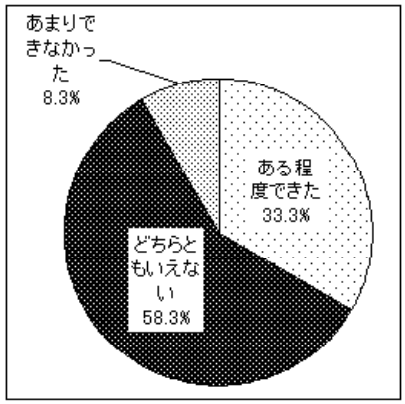



※　４団体が社会福祉に係る倫理研修を実施している。

## ５　活動の場としての地域資源の活用

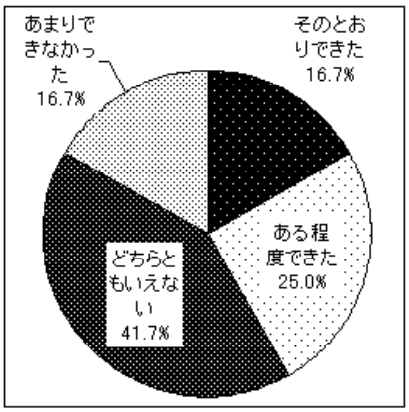
５－（１）福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。

1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　4団体（33.3%）
3　どちらともいえない　　7団体（58.3%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　0団体（ 0.0%）




※　４団体が福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設けている。

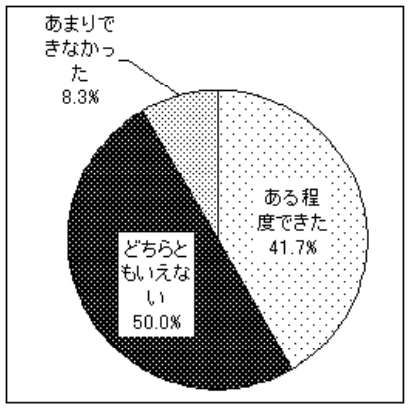
５－（２）身近な地域で見守りや相談，支援などの関わりができる体制をつくる。




1　そのとおりできた　　2団体（16.7%）
2　ある程度できた　　3団体（25.0%）
3　どちらともいえない　　5団体（41.7%）
4　あまりできなかった　　2団体（16.7%）
5　全くできなかった　　0団体（ 0.0%）

※　５団体が身近な地域で見守りや相談，支援などの関わりができる体制づくりに努めている。

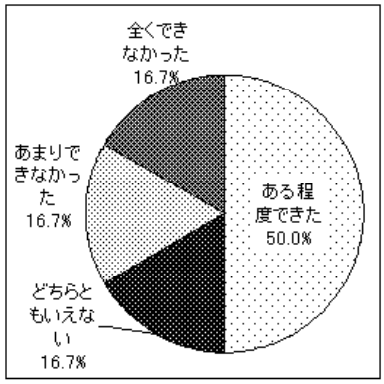
５－（３）関係団体同士の連携，ネットワークづくりを進め，機能や役割の補完関係の構築など，地域資源としての強化を図る。




1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　5団体（41.7%）
3　どちらともいえない　　6団体（50.0%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　0団体（ 0.0%）

※　５団体が関係団体同士の連携，ネットワークづくりを進め，地域資源としての強化を図っている。

５－（４）町会館や集会所などを高齢者や障害者，児童との交流の場として活用する。

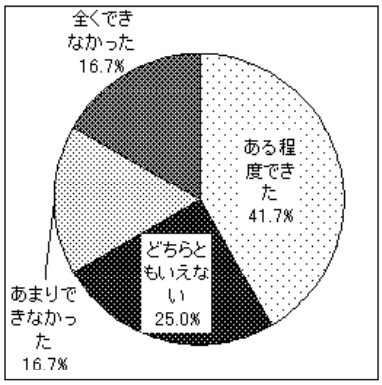



1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　6団体（50.0%）
3　どちらともいえない　　2団体（16.7%）
4　あまりできなかった　　2団体（16.7%）
5　全くできなかった　　2団体（16.7%）

※　６団体が町会館や集会所などを高齢者や障害者，児童との交流の場として活用している。

５－（５）地域で福祉ボランティア体験の機会をつくる。

1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　5団体（41.7%）
3　どちらともいえない　　3団体（25.0%）
4　あまりできなかった　　2団体（16.7%）
5　全くできなかった　　2団体（16.7%）

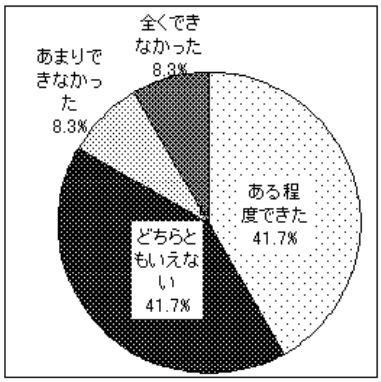



※　５団体が地域での福祉ボランティア体験の機会づくりに努めている。

## ６　意識の醸成

６－（１）福祉に関わる身近な問題について話し合うなど，福祉について考え，理解する場を設ける。

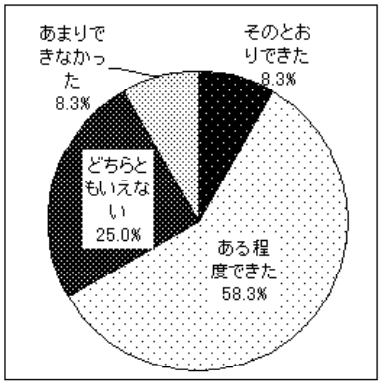
1　そのとおりできた　　0団体（ 0.0%）
2　ある程度できた　　5団体（41.7%）
3　どちらともいえない　　5団体（41.7%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　1団体（ 8.3%）




※　５団体が福祉について考え，理解する場を設けている。

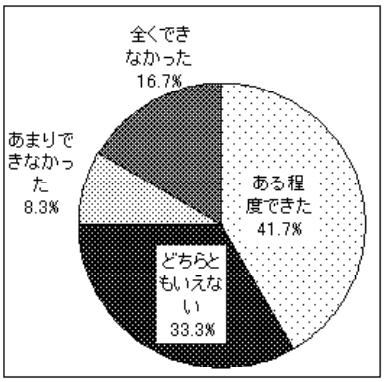
６－（２）地域の中で活動する場合に，福祉的な視点からの取組みを考えてみる。

1　そのとおりできた　　1団体（ 8.3%）
2　ある程度できた　　7団体（58.3%）
3　どちらともいえない　　3団体（25.0%）
4　あまりできなかった　　1団体（ 8.3%）
5　全くできなかった　　0団体（ 0.0%）




※　８団体が地域での活動時に福祉的な視点からの取り組みを考えている。

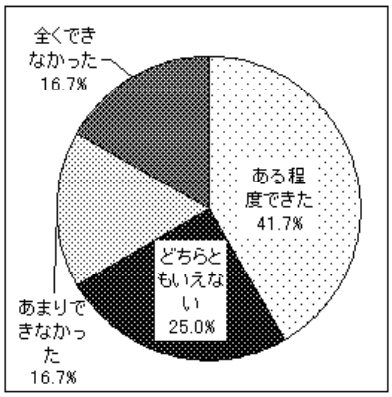
６－（３）町会館や集会所などで，高齢者や障害者，児童との交流を推進する。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 5団体（41.7%） |
| 3 | どちらともいえない | 4団体（33.3%） |
| 4 | あまりできなかった | 1団体（ 8.3%） |
| 5 | 全くできなかった | 2団体（16.7%） |

※　５団体が町会館や集会所などで高齢者や障がい者，児童との交流に努めている。

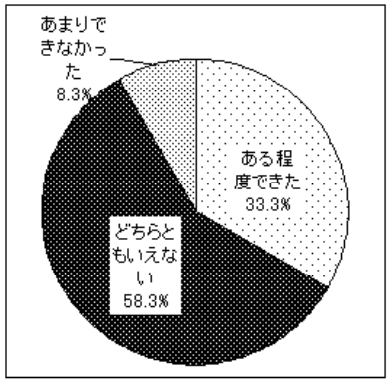
６－（４）地域で福祉ボランティア体験の機会をつくる。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 5団体（41.7%） |
| 3 | どちらともいえない | 3団体（25.0%） |
| 4 | あまりできなかった | 2団体（16.7%） |
| 5 | 全くできなかった | 2団体（16.7%） |

※　５団体が地域で福祉ボランティア体験の機会づくりに努めている。

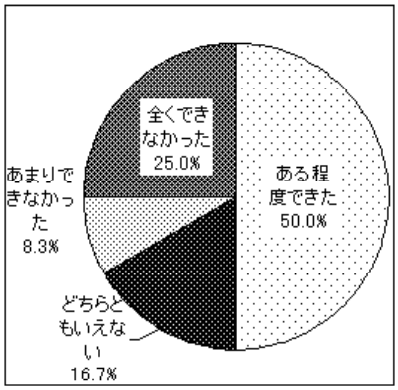
６－（５）地域の中で協力や分担できることを話し合う。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 4団体（33.3%） |
| 3 | どちらともいえない | 7団体（58.3%） |
| 4 | あまりできなかった | 1団体（ 8.3%） |
| 5 | 全くできなかった | 0団体（ 0.0%） |

※　４団体が地域の中で協力や分担できることを話し合っている。

６－（６）地域の中でバリアフリー化の点検と学習会を行う。




| | | |
|---|---|---|
| 1 | そのとおりできた | 0団体（ 0.0%） |
| 2 | ある程度できた | 6団体（50.0%） |
| 3 | どちらともいえない | 2団体（16.7%） |
| 4 | あまりできなかった | 1団体（ 8.3%） |
| 5 | 全くできなかった | 3団体（25.0%） |

※　６団体が地域の中でバリアフリー化の点検と学習会を行っている。

## ４　アンケート用紙（個人用）

**～アンケート調査　ご協力のお願い～**

函館市におきましては，平成１５年度に「函館市地域福祉計画」を策定し，１６年度から２０年度までを計画期間として，現在，地域福祉の推進に努めているところであります。

つきましては，２１年度以降の新計画について，策定に向けた課題等の整理のため，本調査にご協力をいただきたく，時節柄ご多用のことと存じますが，下記によりご回答いただきますようお願いいたします。

（問い合わせ先　函館市福祉部福祉推進課
電話　２１－３２８９
担当　亀田，關）

**函館市地域福祉計画の取り組み状況調査**

各々の項目において，いずれかに○印を付してください。

・性別：男・女
・年齢：３９歳以下・４０～６４歳・６５歳以上
・ボランティア経験（内容は問いません）：有・無
・お住まいの地区：西部・中央部・東部・北東部・北部
（それぞれの地区の町名は別紙を参照ください）
・今の地域での居住年数：５年未満・５年～１０年・１１年以上

以下の１から６については，函館市地域福祉計画において「私達のできること」として記載されているものです。各項目の取り組み状況について，**該当する数字に○印を付してください。**

（記入例）
**１－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況**
自らが責任と自覚を持って福祉のまちづくりに参画する。
1 そのとおりできた　(2) ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１　地域での支援体制の構築**

**【計画上の位置付け】**

全ての人が地域社会を構成する一員であるという意識を持ちながら，地域住民や行政，事業者がともに協力・連携する中で，福祉などのサービスについて，気軽に相談ができる地域での支援体制の整備を進めます。

**１－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況**
自らが責任と自覚を持って福祉のまちづくりに参画する。
1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

声かけ等により近隣との日常的なつながりの中で，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域での子育てやボランティアグループ活動など，自分の経験や知識を活かしながら支援，参画していく。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域活動では特定の人にだけ負担が集中しないよう，自分のできる範囲で協力する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（５）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

話し合える仲間や友達を多く作り交流する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ２　住民参加・人材育成の促進

**【計画上の位置付け】**

| |
|---|
| 地域住民の地域における自立した生活を支援するためには，主体的に活動へ参加していくことが重要であり，そのためにも，生きがいづくりなどの充実や活動への参加機会の拡大などを図ります。 |

**２－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

福祉を受身ととらえずに,自分は何ができるかを考えてみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**２－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

近隣で交流を図り，見守りや助け合いを推進する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ２－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

地域の福祉に関心を持ち，自分の経験や知識を活かしつつ，できることから活動に参画していく。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ２－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

一人では活動に参加したがらない人がいたときは，積極的に声をかけ，誘い合う。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ３　活動団体の連携体制の整備

**【計画上の位置付け】**

地域福祉の推進において大きな役割を担う活動団体やボランティアなどの個々の機能や役割は，相互に連携・協働することで，大きな効果が期待できるものであることから，それぞれの連携を図り，体制の整備を促進していきます。

### ３－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

様々な団体の活動に関心を持ち，自らが知っている活動の情報については，情報提供を必要としている人に対し，積極的に提供する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ３－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

近隣での交流を図り，地域の実態やニーズを把握するとともに，行政や事業者が現状を認識できるように働きかける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ４　情報の共有化・ネットワーク化の促進

**【計画上の位置付け】**

地域における福祉の実情をよく把握している民生・児童委員や社会福祉協議会などでは，それぞれが地域で活動し，様々な支援を行っていますが，それぞれが持つ情報の共有化を図ることにより，地域での活動が円滑に進められることから，基本的人権に配慮しながら，これらの情報の共有化・ネットワーク化を促進します。

### ４－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

プライバシーに対する正しい知識を習得し，過敏になり過ぎない。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

声かけ等により近隣の実態を把握し，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

病気や要介護状態になる前に，日頃から医療や福祉に関心を持つ。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

話し合える仲間や友達を多く作り交流し，自分がいざというときにして欲しいことを知ってもらう。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ５　活動の場としての地域資源の活用

**【計画上の位置付け】**

| |
|---|
| 地域福祉の目的の一つである，地域の中で共に支え合う体制の構築の実現のために，町会館など地域資源を活用した活動や専門的な知識を有する人的資源を活かす取組みを促進します。 |

### ５－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

地域での子育てやボランティアグループの設立など，自分の経験や知識を活かしながら支援，参画していく。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

民生委員や福祉事務所，地域包括支援センターなどの活動に目を向け，情報提供など，自分が手伝えることはないか考えてみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

ボランティア活動等の場として，使用しなくなった空き部屋などの活用法を検討する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ６　意識の醸成

【計画上の位置付け】

地域福祉を進めるためには，社会福祉の意義を市民自らが理解し，責任と自覚を持って参加・支援していくことが重要であるとともに，福祉サービスの受け手となる場合にも，必要なサービスを適切に利用していくという意識が求められていることから，こうした意識の啓発のための活動の充実を図ります。

### ６－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ６－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉を特定の人だけのものととらえずに，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ６－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

病気や要介護状態になる前に，日頃から健康に留意し，生きがいづくりの活動にも参加してみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ６－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉のまちづくりについて，自分ができることは何かを考え，実してみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ６－（５）計画上の取り組み目標と取り組み状況

各種交流会や学習会に積極的に参加し知識の習得に努める。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

６－（６）計画上の取り組み目標と取り組み状況

サービス利用にあたっては，必要とするものを適正に利用するという意識を持つ。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

●函館市地域福祉計画を読んだことがありますか。

1 全部読んだ　2 ある程度読んだ　3 興味ある部分を読んだ　4 全く読んでいない　5 計画自体を知らない

●地域福祉計画は地域福祉の推進に役立ったと思いますか。

1 役に立った　2 ある程度役に立った　3 どちらともいえない　4 あまり役に立っていない　5 全く役に立っていない

●これまでの地域福祉計画の取り組みにあたって不足していたものがあれば，記載してください。

例）計画の内容，市の取り組み姿勢，普及方法　など

（　　）

●あなたの所属している町会･団体･サークル等で行っている地域福祉に関する活動があれば，記載してください。

例）小学校の登下校時の見守り活動，防犯パトロール活動　など

（　　）

ご協力ありがとうございました。

## ５　アンケート用紙（団体用）

### 函館市地域福祉計画の取り組み状況調査

以下の１から６については，函館市地域福祉計画において「地域ができること」として記載されているものです。各項目の取り組み状況について，**該当する数字に○印を付してください。**

（記入例）

**１－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。

1 そのとおりできた　②ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１　地域での支援体制の構築**

**【計画上の位置付け】**

全ての人が地域社会を構成する一員であるという意識を持ちながら，地域住民や行政，事業者がともに協力・連携する中で，福祉などのサービスについて，気軽に相談ができる地域での支援体制の整備を進めます。

**１－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

活動団体同士が持つ情報を共有し，身近な地域で様々な立場から支援することができる体制をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**１－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

行政と市民をつなぐ活動を充実する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### １－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

そこに行けば誰でも必要な情報や相談を受けられるような仕組みを考え，実践してみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ２　住民参加・人材育成の促進

【計画上の位置付け】

| |
|---|
| 地域住民の地域における自立した生活を支援するためには，主体的に活動へ参加していくことが重要であり，そのためにも，生きがいづくりなどの充実や活動への参加機会の拡大などを図ります。 |

### ２－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉に関わる活動について，市民で話し合いをしたり活動の情報交換ができる場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ２－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

町会館等の身近な場所で活動の体験ができるようにするなど，住民参加の機会を提供する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ２－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

地域活動への体験的な参加が継続されていくための方策を検討する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ３　活動団体の連携体制の整備

【計画上の位置付け】

地域福祉の推進において大きな役割を担う活動団体やボランティアなどの個々の機能や役割は，相互に連携・協働することで，大きな効果が期待できるものであることから，それぞれの連携を図り，体制の整備を促進していきます。

### ３－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉に関わる活動団体の情報を交換できる場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ３－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

活動団体同士が持つ情報を広く共有し，地域の枠を越えた様々な立場からでも支援することができる体制をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ３－（３）計画上の取り組み

地域の中で保健師・ケアマネジャー・かかりつけ医等のつながりをつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ４　情報の共有化・ネットワーク化の促進

【計画上の位置付け】

地域における福祉の実情をよく把握している民生・児童委員や社会福祉協議会などでは，それぞれが地域で活動し，様々な支援を行っていますが，それぞれが持つ情報の共有化を図ることにより，地域での活動が円滑に進められることから，基本的人権に配慮しながら，これらの情報の共有化・ネットワーク化を促進します。

### ４－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

活動団体同士が持つ情報を共有し，活動に反映できる体制をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

関係団体同士の情報ネットワークづくりを進める。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ４－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

プライバシーの尊重など，社会福祉に係る倫理研修を実施する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ５　活動の場としての地域資源の活用

**【計画上の位置付け】**

地域福祉の目的の一つである，地域の中で共に支え合う体制の構築の実現のために，町会館など地域資源を活用した活動や専門的な知識を有する人的資源を活かす取組みを促進します。

### ５－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉に関わる問題を行政や活動団体，市民で話し合ったり情報交換ができる場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況

身近な地域で見守りや相談，支援などの関わりができる体制をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況

関係団体同士の連携，ネットワークづくりを進め，機能や役割の補完関係の構築など，地域資源としての強化を図る。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況

町会館や集会所などを高齢者や障害者，児童との交流の場として活用する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

### ５－（５）計画上の取り組み目標と取り組み状況

地域で福祉ボランティア体験の機会をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

## ６　意識の醸成

**【計画上の位置付け】**

地域福祉を進めるためには，社会福祉の意義を市民自らが理解し，責任と自覚を持って参加・支援していくことが重要であるとともに，福祉サービスの受け手となる場合にも，必要なサービスを適切に利用していくという意識が求められていることから，こうした意識の啓発のための活動の充実を図ります。

### ６－（１）計画上の取り組み目標と取り組み状況

福祉に関わる身近な問題について話し合うなど，福祉について考え，理解する場を設ける。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**６－（２）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域の中で活動する場合に，福祉的な視点からの取組みを考えてみる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**６－（３）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

町会館や集会所などで，高齢者や障害者，児童との交流を推進する。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**６－（４）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域で福祉ボランティア体験の機会をつくる。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**６－（５）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域の中で協力や分担できることを話し合う。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**６－（６）計画上の取り組み目標と取り組み状況**

地域の中でバリアフリー化の点検と学習会を行う。

1 そのとおりできた　2 ある程度できた　3 どちらともいえない　4 あまりできなかった　5 全くできなかった

**●これまでの地域福祉の推進にあたって不足していたものがあれば，記載してください。**

例）計画の内容，市の取り組み姿勢，普及方法　ほか

（　　）

ご協力ありがとうございました。